

令和6年度事業計画

令和6年度は、コロナ禍からの再生と飛躍そして令和6年能登半島地震からの復興への年と位置付けます。国内はコロナ禍からの脱却が進み経済社会活動が正常化する中で緩やかに回復傾向にあります。しかしながら、その回復ペースは鈍化すると見込まれています。

また、令和6年1月1日に発生した能登半島地震は未曾有の事態であり、復興には計り知れない時間を要する災害であります。

これらの事態を受け、高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、コロナ禍からの再生と能登半島地震からの復興に重要な役割を担い地域の課題を踏まえて積極的な取組を進める必要があります。

こうした中で、会員の減少を抑制し、新規の加入促進、就業機会の拡大が最大の課題であります。しかしながら、政府は定年延長や雇用環境の充実の施策を推進していますが、シルバー人材センターへの新規加入への足踏みの一因ともなっています。少子高齢化社会が進展する本市においては、新たな需要環境を見極め、従来の枠組みにとらわれないサービスの提供とこれまで以上に魅力あるシルバー人材センター活動が求められています。

当センターでは、高年齢者就業機会確保事業の中心である剪定や除草作業などに就業する会員の高齢化等から、受注対応が厳しくなっており、安全対策強化に加えて、需要に合った新規加入促進と作業会員の育成向上を図る必要があります。このため、「地域や会員に魅力あるセンター」を目指して、新規事業への参入及びシルバー事業の積極的な広報・情報発信を行い、シルバー人材センターの基本である三つの目標、「会員拡大・就業拡大・安全就業」の達成に取り組んで参ります。

さらに、今年度は昨年施行されたインボイス制度の継続と秋に施行される通称フリーランス法の対応や会員と仕事の的確なマッチング等業務効率化を資するため、シルバー事業のデジタル化に取り組みます。

1. 基本方針

- 1 高年齢者就業機会確保事業の推進
 - (1) 会員の確保、拡大
 - (2) 就業機会の拡大、提供の推進
 - (3) 安全・適正就業
 - (4) 会員の資質向上
- 2 独自事業の新規開拓
- 3 シルバー事業のデジタル化
- 4 羽咋勤労者総合福祉センター運営管理
- 5 組織体制の充実

2. 事業実施計画

1 高齢者就業機会確保事業の推進

(1) 就業機会の確保と雇用の適正確保、新規会員の入会促進には、社会情勢や需要の見極め及び新たな事業の開拓を図る必要があります。また、会員の健康と生きがいづくりや地域社会に貢献する組織作りを強力に推進していきます。

- ①羽咋市の「広報はくい」やシルバーホームページでのPR、新聞への折込などを行い情報発信をしていきます。
- ②普及啓発月間に合わせたボランティア活動や各種イベント活動、シルバーフェスタ開催での情報発信をしていきます。
- ③会員向け機関誌「シルバーだより」(年4回)やデジタルツールを活用した就業募集情報、就業機会を発信していきます。
- ④指揮命令が必要な分野への就業は、公益社団法人石川県シルバー人材センター連合会羽咋事業所として、会員に対して労働者派遣による就業機会の提供を行います。
- ⑤役職員による民間事業所への訪問による就業開拓と情報提供を進めていきます。
- ⑥毎週水曜日に入会者説明会を開催し、随時入会を進めていきます。

(2) 安全・適正就業の推進

会員が安全かつ健康で就業するため、能力に応じた仕事に従事し、事故「ゼロ」を目指し、意識の高揚と啓発に努めていきます。

- ①安全・適正就業委員会で推進計画を策定し、安全対策を強化推進します。
- ②安全パトロールの実施、結果分析の公表と安全適正就業を図ります。
- ③安全防具(ヘルメットや安全ベルト等)の着用、作業用具の点検整備、作業前点検を徹底し、事故「ゼロ」に努めます。
- ④熱中症予防情報を適宜発信し、熱中症防止対策に取り組みます。
- ⑤安全就業と健康管理は不可欠であり、特定健診などの受診を推奨し、会員の意識向上に努めます。
- ⑥機関誌「安全だより」の発行、講習会の開催により健康・安全意識の向上を図ります。

(3) 会員の資質向上及び能力開発

会員の多様な就業ニーズや技術・技能後継者の不足、顧客からの新しいニーズに応え、会員の知識・能力を高め、資質向上や能力開発に努めていきます。

- ①石川県シルバー人材センター連合会が主催する支援と育成講習
剪定初任者技能講習、刈払機作業に関する一般的な知識、安全対策を習得します。
- ②羽咋市シルバー人材センターが主催する研修、講習会等
熱中症や就業中事故の応急処置講習など技能・安全知識を習得します。

③安全運転講習

石川県交通安全協会の実施する高齢者ドライビングスクール、石川県シルバー人材センター連合会主催の技能講習、当センターの独自講習等に積極的に参加し、会員の安全運転に対する技能向上と意識啓発を進めます。

(4) 会員の社会活動の促進

少子高齢化の進展により、地域の支え手として活躍の場が広がっています。地域に貢献するセンターの取組みを積極的にPRし、信頼に添えていきます。

同世代の支え手として、日常生活支援や家事援助のサービス事業に積極的に取組み、会員のボランティア活動を継続して行います。

2 独自事業の新規開拓

会員の働く機会の拡大、自主性、自発性を尊重し、会員の創意と工夫により、自らの運営を基本に実施します。

就業会員の高年齢化と健康面から、新規独自事業の開拓に取り組みます。

① 独自事業の新規開拓

会員の皆さんや地域の方が求める新たな独自事業を発掘し、時代に合った継続できる新事業に取り組みます。

3 羽咋勤労者総合福祉センター運営管理

羽咋勤労者総合福祉センターは、羽咋市の施設であり、羽咋市シルバー人材センターが指定管理を受け、貸館事業や維持管理など全体運営を行っています。開設以来、当シルバー人材センターが管理を請負っています。現在、大規模な改修が必要となっていますので、羽咋市と協力し、利活用しやすい施設になるよう努めます。

4 組織体制の充実

これまでのコロナ禍や会員減少により契約額が減少する中で、効率的な財政運営や理事会、専門委員会及び事務局が情報共有してきました。コロナ禍からの再生を図り、これまで以上に建設的な意見交換・提案を実践に移す必要があります。

情報共有の強化と他センターとの交流を深め、情報交換を進めることにより、発注者及び会員の期待に応えられる組織体制と資質向上に取り組んでいきます。

また、シルバー事業のデジタル化を推進し事業効率を高めていきます。